

平成19年第1四半期「景気動向調査」結果報告

景気回復は一服感 原油高騰による経営への影響力を再び懸念

調査概況：【製造業】

今後の景気予測では、経済全体に対して不安視する向きがあり、その影響から自社業界に対して慎重な姿勢である。

売上(出荷)高に関しては、前回調査での落ち込みをどの程度回復するか期待されたが回復感は弱く、前年と比較しても余り上昇感は見られなかった。

景況感については、対三カ月前比で大きく落ち込んだ前回調査からの急激な回復は見られない。対前年比では売上(出荷)高でやや停滞感があるのに対して、この項目では緩やかな回復基調が続いている。

原油高騰に関しても、わずかながらではあるものの「経営に対して影響あり」とする声が高くなった。

【非製造業】

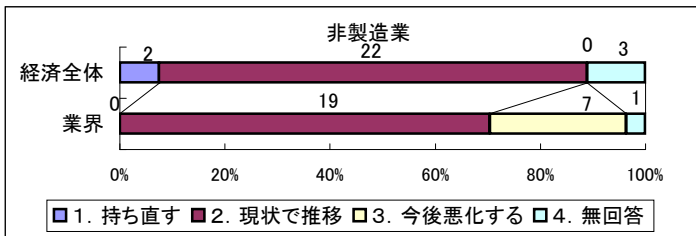
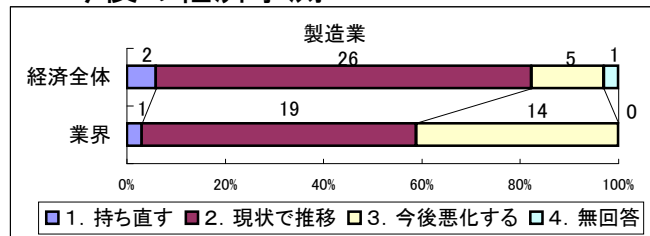
経済全体の見方については、回復・悪化の一進一退の状況が続いている。業界予測では前回調査で大幅な回復を記録したが、今回は前々回調査とほぼ同水準に悪化。変動幅が大きいので今後も注意が必要である。

売上(出荷)高の対三カ月前比では、ほぼ例年通りの変動であるが、DI値水準もほぼ同じで回復感は小さい。対前年比でも去年同期よりDI値は低落している。しかし、昨年11月期調査で悪化した値は前回に引き続き改善されている。

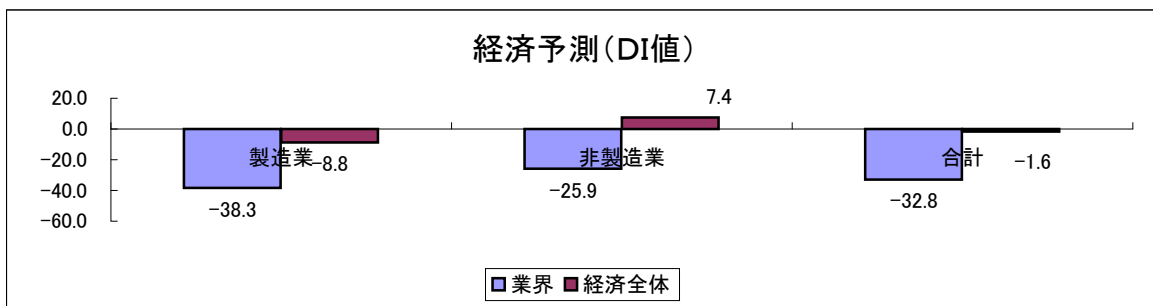
景況感については、対三カ月前比において15.3ポイントと大幅な改善が見られ、対前年比でも回復が見られた。ただ、対前年比項目のDI値がまだ低位水準であることから今後、回復基調が続いていくことが期待される。

その際、懸念材料となるのが原油高騰の影響であり、今回では「影響なし」の割合に変化は無いものの、「経営を揺るがす程の影響」との割合が増加した。

1. 今後の経済予測



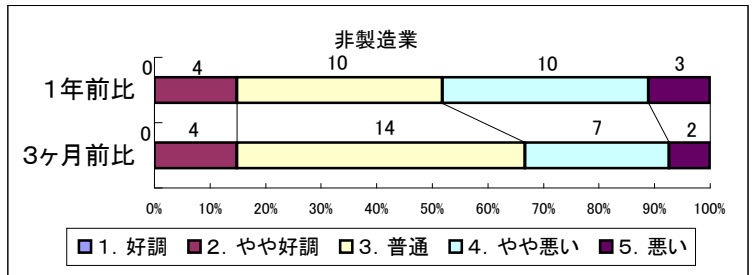
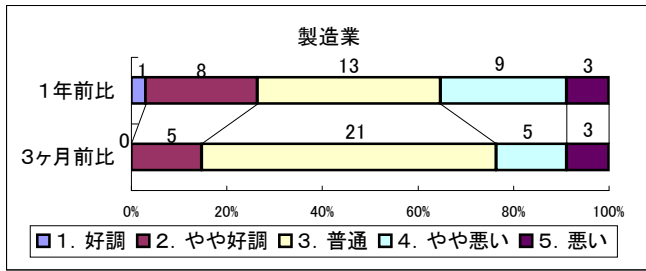
DI値	業界	経済全体	業界(前回)	経済(前回)
製造業	-38.3	-8.8	-28.6	0.0
非製造業	-25.9	7.4	-4.2	-4.1
合計	-32.8	-1.6	-18.6	-1.7



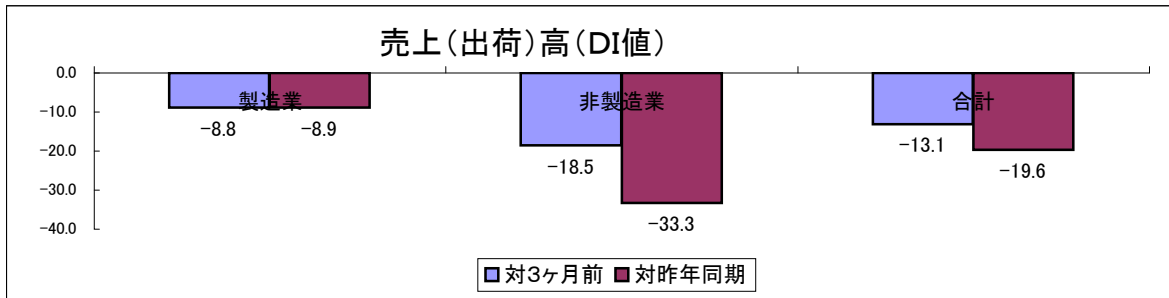
製造業の業界景気予測では、前回調査で大幅に悪化したDI値が今回調査でさらに悪化した(9.4ポイントダウン)。前回において調査開始(平成16年2月)以来、最も良い値を記録した非製造業も大幅に低下した(21.7ポイントダウン)。両業種とも自社業界の景気予測に対して慎重な姿勢がうかがえる。

一方、経済全体の予測でも平成17年11月期調査以後プラス基調を維持していた製造業では、DI値がマイナス値に転じ昨年同期調査以降、先行きを不安視する傾向が続いている。逆に非製造業ではDI値がプラス値に転じたものの、一進一退の状況が続いているので今後、どのようにDI値が推移していくか注目される。

2. 売上(出荷)高について



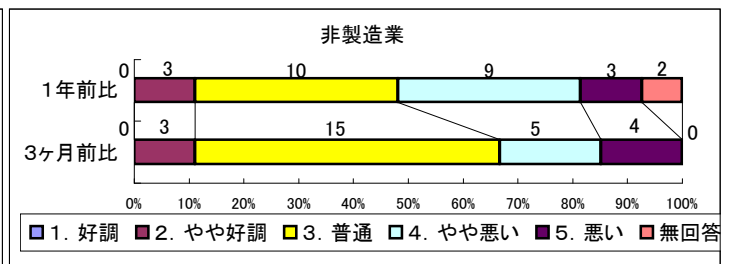
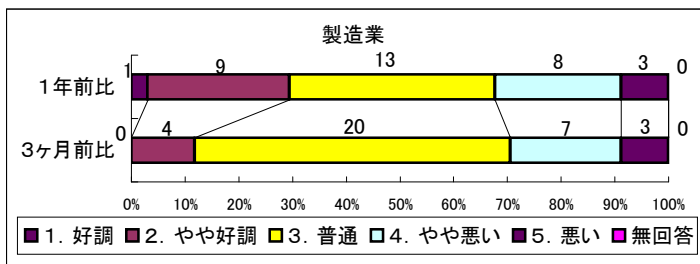
DI値	対3ヶ月前	対昨年同期	対3ヶ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-8.8	-8.9	-17.2	-2.9
非製造業	-18.5	-33.3	-33.4	-37.5
合計	-13.1	-19.6	-23.7	-17.0



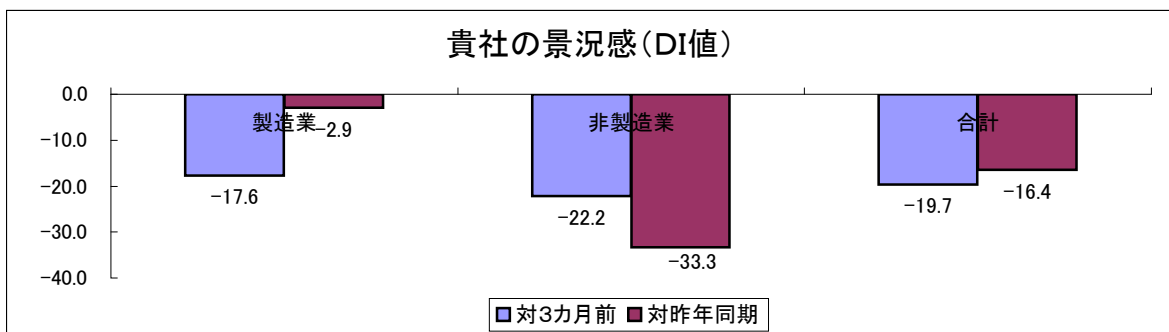
製造業の対三ヶ月前比では、前回調査より8.4ポイント回復するに留まり回復傾向は鈍化してきている。非製造業では、前回と比較すると14.9ポイントと大きく回復するも、昨年同期調査比較するとほぼ同様のDI値推移であり景気の底上げ感は弱い。

対前年度比で見ると製造業では、昨年同期調査と比較するとわずかな改善に留まり、やや停滞感が見られる。非製造業では、昨年11月期調査で回復傾向の停滞が見られたが前回、今回と徐々にDI値が回復。しかしながら、DI値がマイナス33.3ポイントと低位であることから本格的な回復傾向にあるとは言い難く、次回調査でどこまで回復していくか期待される。

3. 貴社の景況感について



DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3ヶ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-17.6	-2.9	-22.9	-8.5
非製造業	-22.2	-33.3	-37.5	-41.7
合計	-19.7	-16.4	-28.8	-22.0

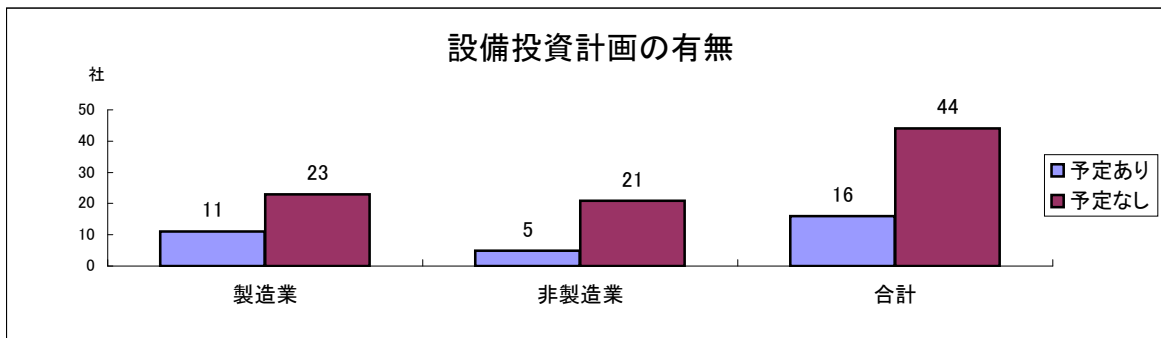


製造業の対三カ月前比においては、前回調査で大幅に落ち込んだ値を5.3ポイント回復。今回調査では前回調査の落ち込みを大きく回復するか否か期待されたが、業界予測同様に慎重な姿勢がうかがえる。逆に非製造業では、15.3ポイント回復。依然、マイナス値ではあるものの回復見せたこの値が次回調査でさらに回復していくかどうか注目される。

対前年比では製造業で、5.6ポイント回復。前年同期調査などからも自社に関しては緩やかではあるが回復基調を継続している。次回調査はプラス値に転じるか否かが注目される。非製造業でも8.4ポイントの回復を見せた。こちらは回復してきているものの、依然低位水準を脱しきれていない。

4. 設備投資計画について

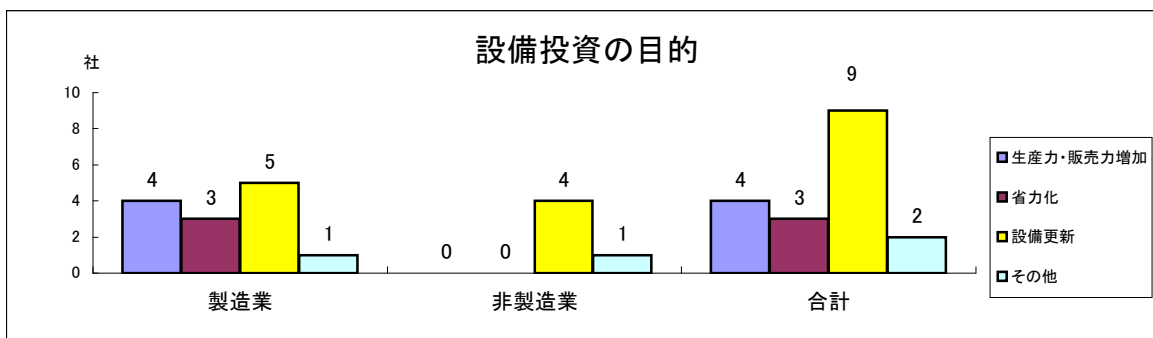
	予定あり	予定なし	無回答	合計
製造業	11 [32.4%]	23 [67.6%]	0 [0.0%]	34 [100.0%]
非製造業	5 [18.5%]	21 [77.8%]	1 [3.7%]	27 [100.0%]
合計	16 [26.2%]	44 [72.1%]	1 [1.6%]	61 [100.0%]



製造業では約32%、非製造業では約19%が設備投資を計画している。製造業はほぼ前回調査と同水準、非製造業は「設備投資を予定」との回答が6%増加した。

5. 設備投資目的について

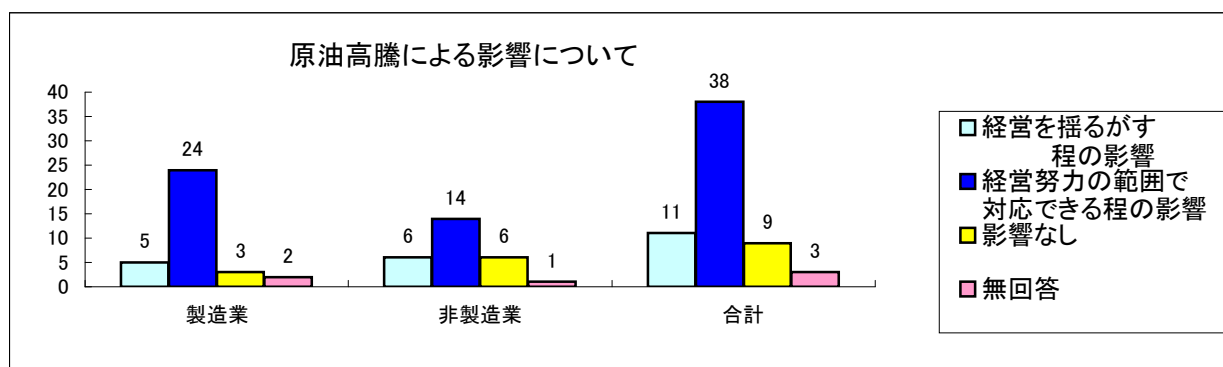
	生産力・販売力増加	省力化	設備更新	その他	合計
製造業	4	3	5	1	13
非製造業	0	0	4	1	5
合計	4	3	9	2	18



製造業では「設備更新」が最も多く、次いで「生産力・販売力増加」、「省力化」と投資目的が多岐にわたっている。非製造業の設備投資目的は前回調査と同様に「設備更新」のみであった。環境面に配慮する設備投資を予定されているところもあり、企業の社会貢献意識がうかがえる。

6. 原油高騰による影響について

	経営を揺るがす程の影響	経営努力の範囲で対応できる程の影響	影響なし	無回答	合計
製造業	5 [14.7%]	24 [70.6%]	3 [8.8%]	2 [5.9%]	34 [100.0%]
非製造業	6 [22.2%]	14 [51.9%]	6 [22.2%]	1 [3.7%]	27 [100.0%]
合計	11 [18.0%]	38 [62.3%]	9 [14.8%]	3 [4.9%]	61 [100.0%]



両業種ともに「経営努力の範囲で対応できる程の影響」の回答が最も多い。製造業では、「経営を揺るがす程」との割合が減少したものの「影響なし」の割合も減少し「経営努力の範囲内で対応できる程」へシフト。非製造業では「影響なし」との回答割合は前回からあまり変わらないものの、「経営努力の範囲内」から「経営を揺るがす程」への回答がシフト。製造業では「経営に対して影響あり」とする声が業界内で85%と前回から若干増え、非製造業では経営に対しての影響力を不安視する声が高まっている。

A. 調査概要

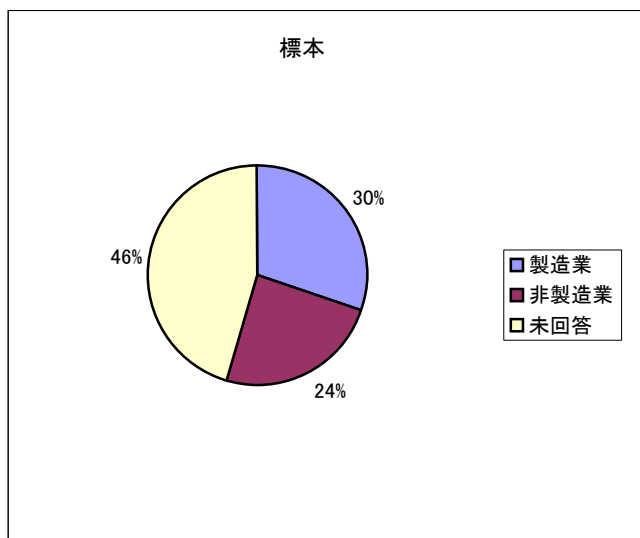
1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成19年5月1日～10日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 当所部会役員127社中、大企業を除く中小企業111社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 標本数

	調査対象
一般工業	17
建設業	16
醬油工業	4
食品工業	9
皮革工業	19
公益業	11
サービス業	9
商業	26
合計	111

	調査対象	回答	回答
製造業	65	34	52.3%
非製造業	46	27	58.7%
合計	111	61	55.0%
未回答		51	45.9%



集計表

1) 今後の景気動向予測

項目	業界					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 持ち直す	1	2.9%	0	0.0%	1	1.6%
2. 現状で推移	19	55.9%	19	70.4%	38	62.3%
3. 今後悪化する	14	41.2%	7	25.9%	21	34.4%
無回答	0	0.0%	1	3.7%	1	1.6%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-38.3	-25.9	-32.8
DI値(前回-2月)	-28.6	-4.2	-18.6
	-9.7	-21.7	-14.2

項目	経済全体					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 持ち直す	2	5.9%	2	7.4%	4	6.6%
2. 現状で推移	26	76.5%	22	81.5%	48	78.7%
3. 今後悪化する	5	14.7%	0	0.0%	5	8.2%
無回答	1	2.9%	3	11.1%	4	6.6%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-8.8	7.4	-1.6
DI値(前回-2月)	0.0	-4.1	-1.7
	-8.8	11.5	0.1

2) 売上(出荷)額について

項目	3ヶ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	5	14.7%	4	14.8%	9	14.8%
3. 普通	21	61.8%	14	51.9%	35	57.4%
4. やや悪い	5	14.7%	7	25.9%	12	19.7%
5. 悪い	3	8.8%	2	7.4%	5	8.2%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-8.8	-18.5	-13.1
DI値(前回-2月)	-17.2	-33.4	-23.7
	8.4	14.9	10.6

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	1	2.9%	0	0.0%	1	1.6%
2. やや好調	8	23.5%	4	14.8%	12	19.7%
3. 普通	13	38.2%	10	37.0%	23	37.7%
4. やや悪い	9	26.5%	10	37.0%	19	31.1%
5. 悪い	3	8.8%	3	11.1%	6	9.8%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-8.9	-33.3	-19.6
DI値(前回-2月)	-2.9	-37.5	-17.0
	-6.0	4.2	-2.6

3) 景況感について

項目	3ヶ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	4	11.8%	3	11.1%	7	11.5%
3. 普通	20	58.8%	15	55.6%	35	57.4%
4. やや悪い	7	20.6%	5	18.5%	12	19.7%
5. 悪い	3	8.8%	4	14.8%	7	11.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-17.6	-22.2	-19.7
DI値(前回-2月)	-22.9	-37.5	-28.8
	5.3	15.3	9.1

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	1	2.9%	0	0.0%	1	1.6%
2. やや好調	9	26.5%	3	11.1%	12	19.7%
3. 普通	13	38.2%	10	37.0%	23	37.7%
4. やや悪い	8	23.5%	9	33.3%	17	27.9%
5. 悪い	3	8.8%	3	11.1%	6	9.8%
無回答	0	0.0%	2	7.4%	2	3.3%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

DI値	-2.9	-33.3	-16.4
DI値(前回-2月)	-8.5	-41.7	-22.0
	5.6	8.4	5.6

4) 設備投資計画について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 予定あり	11	32.4%	5	18.5%	16	26.2%
2. 予定なし	23	67.6%	21	77.8%	44	72.1%
無回答	0	0.0%	1	3.7%	1	1.6%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%

5) 設備投資目的について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 生産力・販売力増加	4	30.8%	0	0.0%	4	22.2%
2. 省力化	3	23.1%	0	0.0%	3	16.7%
3. 設備更新	5	38.5%	4	80.0%	9	50.0%
4. その他	1	7.7%	1	20.0%	2	11.1%
合計	13	100.0%	5	100.0%	18	100.0%

6) 原油高騰による影響について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 経営を揺るがす程の影響	5	14.7%	6	22.2%	11	18.0%
2. 経営努力の範囲で対応できる程の影響	24	70.6%	14	51.9%	38	62.3%
3. 影響なし	3	8.8%	6	22.2%	9	14.8%
4. 無回答	2	5.9%	1	3.7%	3	4.9%
合計	34	100.0%	27	100.0%	61	100.0%